

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

&lt;先週の説教から&gt;

『ミカ③ - これはまさに災いの時』

武田真治牧師

ミカ書 2:1-5 ルカ福音書 13:6-9

『ミカ書』を読み始めています。ミカは神様から“幻(=絵や映像)”を与えられたことによって預言者となったのですが、その“幻”はエルサレムの滅亡=裁きの預言を含んでいました。このことはミカにとっても大きな驚きであり、ショックな予告でした。他の誰よりも早くその事実を知らされたのですから。それ故、どうして神様がそのような裁きを下そうと決心なされたのだろうかと考えるのは当然のことだと言い得ます。そしてまさに神様の側に立って、当時の状況を“見る=探る”ようになるのです。それこそ預言者が《神様の目=信仰の目を持つ》者へと変えられるのです。

ミカがその“目”で見た時に見えて来た問題=病巣が「災いだ、悪事を謀る者は。夜明けとともに、彼らはそれを行う。力をその手に持っているからだ。彼らは貪欲に畑を奪い、家々を取り上げる。住人から家を、人々から嗣業(=先祖伝来の土地)を強奪する。」です。これは当時の支配者や役人、大地主(=「力を手にもっている」)たちの“横暴・貪欲”を告発している言葉なのです。ここに問題があると！

かつてイスラエルの民は皆、エジプトで奴隷であり、荒野を旅する放浪者でした。神様が彼らを導いて“約束の地”に移り住みました。その時は貧富の差はほとんどありませんでした。それが定住し貨幣経済も進み、小金持ちは金貸し業に精を出すようになります。本来、土地は神様の物であるのに、個人の所有物と見做され、貧窮した者たちはその土地を手放し、やがて自分の体までも売ること。持つものは更に財産を増していた状況があったのでした。そのような民の中に巣くっている“貪欲”が問題だとミカは気が付いたのでした。現代と同じような状況があったのでした。しかしそれ故に「主はわが民の土地を人手に渡される」と“主の裁き”を取り継ぎます。これは、彼らが貪欲に土地や財産を手に入れても、外国の軍隊と王様が攻めてきたら、土地は何の価値もな

くなると。そして、多く持つ者ほど殺されて奪われるではないかと。その時になって「どうして、我々の畑が(神に)背く者(=異国人)に分け与えられるのか」と嘆くようになる。こうなってもまだ「我々の畑」と言うだろうと。主から与えられた土地ならば、今度は誰か他の者に主が与えられたとしても文句は言えないではないはずなのに。

ミカと同じように、私たち信仰者も神様から“信仰”を他の人より先に“与えられた”者ですから、実は《神様の目=信仰の目を持つ》者へと変えられていると言い得るのです。その“目”を持って今の世の中に警告を発したり、人々に本當の道を示していくことが出来るのであり、また、求められているのです。良き目と、良き言葉を持って生きたい！

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈禱会 I. 9月20日(水) 20:00  
II. 9月21日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答

祈禱主題: かこた婦人の村を覚えて

担当: (水) 羽倉 (木) 大野

祈りに覚える人: 未留さん 杉村さん

\*ハンナの会 9月19日(火) 10:30~

## 【教勢報告】

主日礼拝 男18 女53 計71  
祈禱会 I. 男6 女3 計9 II. 男2 女7 計9  
日曜学校 幼稚科5 小中科12 計17

\*\*\*\*\*

## 【次週主日礼拝】 9月24日(日)

聖書: 詩編 37:1~22

使徒言行録 20:29~32

説教: 「詩編③⑦ - ① - そんなにいら立つな！」

武田真治牧師

讚美歌: 3(1)、32、393(1~3)、60(1~3)、  
132(1、3、5)、90(1)

## 【次週当番表】

司式: 金刺長老 奏楽: 須田 礼拝: 茨木長老

献金: 近森 圓谷 受付: 金刺 坂田

会堂準備: 大野 勝村 黒澤 鶴巻

西尾

看板: 中村 週報: 飯島 お花: 飯島

## 【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会

・礼拝/伝道/牧会/教育/社会 各委員会

・改長協委員会

2023年 9月 17日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&amp;FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>